

The Egg Tree House

ファシリテーター養成講座

2025年6月28日(土)・29日(日)

※事前オンライン研修あり

場所： 十住堂（真蔵院） 小金井市関野町2-1

時間： 各日9時～16時40分

費用： 一般 30,000円

大学生・大学院生 30,000円（スーパーバイザー付実習）

* 学生で実習単位を必要としない場合は20,000円

定員： 14名

* 申込のあった方に参加申込用紙を送ります。受付は参加申込用紙の提出順です。

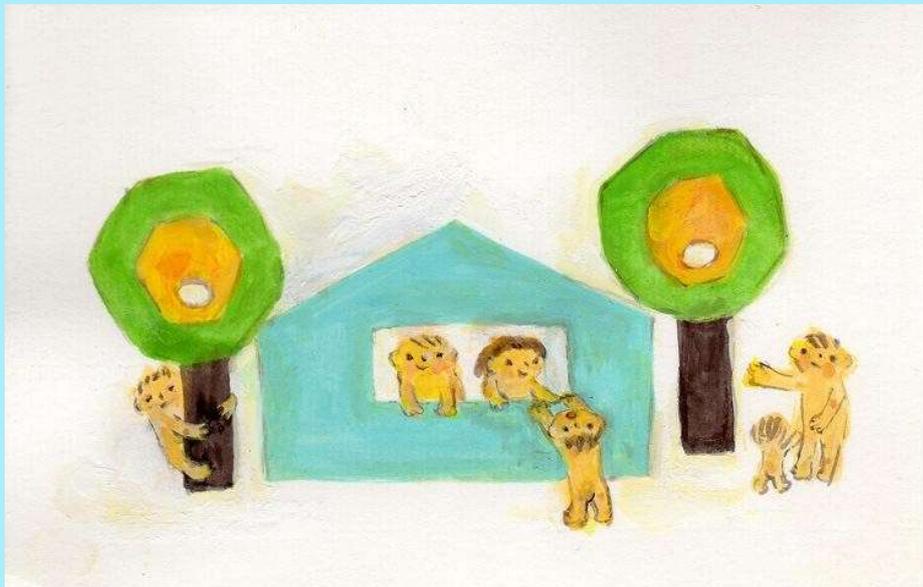
* 定員のうち、学生の上限を7名とさせていただきます。

—申込、問合せ—

info@eggtreehouse.org

申込受付 4/10～5/15

主催 一般社団法人 The Egg Tree House



講座プログラム・スケジュール

記載のない各講座の講師はエッグツリーハウスのファシリテーターがつとめます。
講座内容が一部変更になる場合がございます。

オンライン講義（対面講座の前に必ずご視聴ください）

※オンライン講義はYouTubeにアップロードした動画を限定公開の形でご視聴いただきます。

「はじめに」（約60分）

エッグツリーハウスの成り立ち・活動概要、ファシリテーターの役割など。

「グリーフケアの概略」（約90分） * 島藺進（東京大学名誉教授・上智大学グリーフケア研究所元所長）

グリーフケアとは、グリーフケアと日本文化・習俗、グリーフケアとアートなど。

「悲嘆の身体反応と野口体操」（約90分） * 新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト・野口体操講師）

私たちが野口体操を大事にしている一つの理由には、グリーフの身体性というものがあります。悲嘆は心だけでなく、身体にもさまざまな形であらわれます。悲嘆を抱える人と向き合うファシリテーターになるために、なぜ野口体操を学ぶことが必要なのかを解説します。

6月28日（土） 対面1日目 受付8:30

9:00— 9:50 スタッフ・参加者自己紹介、真蔵院住職挨拶

10:00— 10:50 傾聴

相手の言葉に耳を傾けること、否定やジャッジすることなく、ありのままを受け止めること。ファシリテーターとしての基本姿勢をお伝えします。

11:00— 12:00 ロスライン

自分自身の喪失体験を図で描いて可視化し、他者に伝えるワーク。自己を振り返るとともに、喪失体験を他者に伝えること、他者の喪失体験を聴くことの実践を学びます。（語りたくないことは語る必要はありません）

13:00— 16:40 野口体操 * 新井英夫・板坂記代子（野口体操講師）

「ほぐす・つながる・つくる」をキーワードに、他者の悲嘆感情をどう受け止めるか、どう寄り添うかを身体感覚から学ぶワークです。（動きやすい服装でご参加ください。着替え場所あります）

6月29日（日） 対面2日目 受付8:30

9:00— 10:30 子どものグリーフケア、子どものたまごの時間

エッグツリーハウスでは、「遊び」「アート」を主として子どものグリーフケアを行っています。子どもならではの特性や留意しているポイントなど、実践知・経験知をもとにお伝えします。

10:40— 12:30 アートとグリーフケア、遊びとグリーフケア

エッグツリーハウスでのアートや遊びを通じた子どもへのグリーフケアとはどのようなものか、実際に体験・体感をしていただきます。（ワークで水を使うので、多少濡れても良い服装でご参加ください）

13:30— 14:20 自死遺族の語りに寄り添う

エッグツリーハウスでは、毎月、自死遺族の分かち合い「そっとたまご」を開催しています。自死遺族の悲嘆、後悔や自責の念を受け止める姿勢についてお伝えします。

14:30— 15:30 大人のたまごの時間

子どものグリーフケアプログラムに参加している間、保護者は分かち合い「大人のたまご」に参加します。そこではどのような時間が流れるのか、ファシリテーターとしての関わり方をお伝えします。

15:35— 16:20 いろいろなお家

講座で体験したことを振り返り、希望を語り合います。

16:20— 16:40 修了式